

わかやぎ

平成 25 年 12 月創刊
令和 2 年 11 月 第 12 号刊
編集・発行
片瀬山連合わかやぎ会

コロナ禍でもつながりを大切に

第二わかやぎ会会長 宇田川 ルイ子

今年の3月、吉田会長の辞任に伴い、第二わかやぎ会会長を務めることになりました。突然のことで戸惑うことばかりですが、立協会長、菘田会長のご指導をいただき、微力ながらお役に立ちますよう精一杯努力して参りますので、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

わかやぎ会は健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりを目標に、講演会、年2回の日帰りバス旅行、年忘れお楽しみ会、ゆつくり歩くポレポレ会等の行事や各種サークル活動を計画して参りました。

しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により多くの行事が中止になりましたが、屋外の活動で

ある北公園でのグラウンドゴルフや北公園と西公園での健康体操は休まず続けています。マスクを着用し、間隔を空け、広々とした公園で、新鮮な空気を胸一杯吸い、手足を思いきり伸ばして、生き返った気分です。

また、会員の方々にお会いする機会が少なくなりましたので7月は友愛担当者が、お一人暮らしの方へ、お茶菓子を持って、玄関先で見守り活動をしました。9月は担当幹事が全会員(192名)に、お赤飯をお届けし、安否確認をしました。皆様から『嬉しかった』『美味しかった』と喜んでいただきました。

これからも家に閉じこもりがちな方々とのつながりを保つために大切

な活動として続けていきたいと考えています。

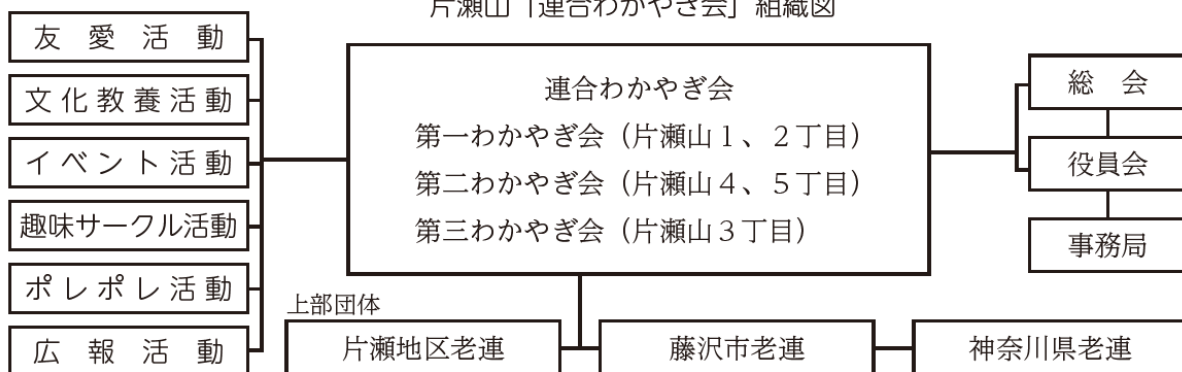
一方、サークル活動は5月25日の緊急事態宣言解除後、6月から三密を避け、間隔を空け、マスクの着用、手洗い等のコロナ感染対策を徹底し、徐々に活動を再開しました。マスクを着けた顔からこぼれんばかりの笑顔でお互いの元気を喜び合い、楽しく活動しております。

また、皆様が楽しみにされている食事会や休止中の行事も知恵と工夫で再開できるよう準備をしております。

いままで経験したことの無い厳しい時代となりましたが、この状態が日常と考え、健康に留意し、心のゆとりをもつて、コロナの早期終息を願い、笑顔で集まれる日を信じてこの事態を共に乗り越えてまいりましょう。



片瀬山「連合わかやぎ会」組織図





(撮影 昭和43年10月22日)

「湘南と片瀬山」 今昔

出席者 Aさん(男性3丁目) 東京から転居・昭和42年第一期分譲購入・43年1月入居

Bさん(女性3丁目) 東京から転居・昭和42年第一期分譲購入・45年入居

Cさん(男性3丁目) 片瀬生まれ育ち・実家の土地・昭和48年入居

Dさん(女性3丁目) 片瀬生まれ育ち・実家の土地・昭和47年入居

Eさん(女性1丁目) 片瀬生まれ育ち・実家の土地・昭和54年入居

Fさん(女性1丁目) 東京から転居・昭和47年土地購入・51年入居

Gさん(女性1丁目) 辻堂から転居・昭和52年建売購入し入居

Hさん(女性5丁目) 東京から転居・昭和47年土地購入・52年入居

司会 I(男性3丁目) 西鎌倉から転居・古家購入し新築・平成12年入居

(問) 片瀬山に居住した理由を教えてください。

(Aさん) 分譲される前に見に来て海と富士山の見える素晴らしい土地だと思った。元から石原兄弟で有名な湘南に憧れていた。分譲面積も70〜90坪で丁度良かった。この頃住宅ローンの期間が5年から15年に伸びた。

(Bさん) 主人が海の見える土地に住みたかった。下見に来て主人が気に入った。自分はこの寂しい土地は嫌だった。

(Cさん) 元々実家の土地で高台にあり海が見えて気に入っていた。モノレールが全線開通して通勤が便利になり居住した。

(Dさん) 実家の土地に住居を建てた。主人は居住地のこだわりはなかった。

(Eさん) 元々持っていた土地と分譲地の土地を交換し居住した。

(Fさん) 何となく見に来たら、家屋が

少なく、海が見えてこれは良い場所と思った。子供が万歳と叫んだ。現地販売所に行き、手付金を払い契約。即決だった。

(Gさん) 下見に来たら、空き地は多いのに売却済みであった。ただ建売が10軒あり、それで契約できた。

(Hさん) マンションに住んでいたが、戸建てに住みたかった。キャンセルが出たと連絡があり、土地を購入した。その後建物を建てたら、入居しないうちに転動になったので、転動中は貸していた。

(問) その時点の片瀬山の状況はどうでしたか？

(Aさん) 大人気で抽選。しかし殆ど家が建ってなくてとても寂しい景色だった。その後も家屋はなかなか建たなかった。坪単価は5万円位だった。売り出す度に値上がりし、且つ抽選だった。

(Bさん) 下見に来た日から1週間後に先着順に販売との事。既に何人か並んでいる。「1週間毎日並ぶ

のですか？」と聞いたら「そうです。毎日2回点呼を取ります。時間は不定期です」と言われた。「出来ません」と言ったら「アルバイトを世話します」と言われ、やむなく頼んだ。そのくらい片瀬山は人気があった。

(Fさん) 殆どの家に駐車場があり、犬を飼っていた。既に3・4丁目は多くの家が建っていた。

(問) 入居時の家族構成はいかがでしたか？

(全員) 夫婦と子供の標準家庭であった。

(問) 買物はどうしていましたか？

(女性達) 身の回り品の買い物は片瀬商店街に行っていた。食品は出前をよく利用していた。それ以外は藤沢駅に行っていた。

(問) 当時の藤沢駅はどんな様子でしたか？

(皆さん) 主要改札口は北口。南口は殆ど空き地。その頃の大きな店舗はフジサワ名店ビル(旧名みのる商店)(昭和40年開店)。西武

デパート藤沢店開店。(昭和50年)
大船駅はどうでしたか？

あまり行かなかった。理由はモノレール料金がバスより高かった。(バスの2倍位?)モノレールの運行は30分に一本、後に15分間隔になった。大船の中通り商店街はほぼ今の感じだった。

(問) バス・モノレールの開通前の通勤はどうしていましたか？

(Aさん) 昭和44年に分譲地内にバス停が出来るまでは、467号線まで歩いて、藤沢駅迄バス通勤をしていた。昭和46年モノレールが全線開通してからはモノレール通勤になった。

(司会) バス停まで歩くのは大変でしたね。
(Aさん) 若かったし、好きな土地に来たので少しも苦でなかった。

(問) 分譲地が出来る前の片瀬山や片瀬の状況をお話し下さい。

(Cさん) 昔は一つの山で全体が雑木林だった。子供たちの遊び場所であった。ゴルフ場が出来る時に殆どの地主はゴルフ場に売却した。しかし自分達の土地はモノレール側で崖だったのでゴルフ場から外れた。ゴルフ場のクラブハウスは湘南百合学園の場所にあった。

(Eさん) 北公園の計画道路の近くは40

米の深さの谷だった。ゴルフ場の時は3丁目から谷越えで1丁目方向に打っていた。駐在所の奥にゴルフ場上がるエレベーターがあった。分譲地の造成前に「片瀬山入り口」からの道路

が出来た。(大坂)

(Dさん) 片瀬山の古い地番は貉ヶ谷・宮畑・赤山・北の谷・立バス石・大丸等であった。片瀬地区は古い地番(新屋敷・東り町等)と現在の地番(片瀬1〜5丁目)と両立している。

(Cさん) モノレールは有料道路(日本最初の自動車専用有料道路)の上に来た。目白山下駅のそばに料金所があった。ちなみに料金は江の島大船で100円だった。

(補足) 自動車専用道路であった為、現在も歩道がない。

(Dさん) パイニーのそばの境川沿いの道は旧道である。(江の島街道)

(問) 居住してからの満足度はどうですか？

(Aさん) 最初は不便だったが、必ず良くなると思っていた。結果的に大満足。

(Bさん) 見に来たときは不安だったが、家を建てて居住したら気に入った。来てすぐに空気と風が違ふと感じた。娘が小学校に上がる時だったので、タイミングが良かった。

(Cさん) 家族と一緒に住めて、子供たちも満足している。

(Dさん) 片瀬育ちで片瀬山の人は他所の土地から来た人達だから、馴染めるかなと心配していた。しかし皆さん良い方ばかりでした。

(Eさん) 海と富士山が見え、空気もきれい。東京には1時間で行けるしとても満足。今後は車を手放すと、坂が大変になりそう。

(Bさん) 周りはプロパンガスだったのに、都市ガスが引かれていた。又上下水道完備であった。道路が広がったので、バスもすぐ開通した。

(Eさん) 惜しむらくは電線の地中化をしてくれれば良かった。

(Aさん) セカンドハウスとして買われた方も多かった。

(Bさん) 結局その方々は住まわれなかった。

(Aさん) 三井不動産の話によると片瀬山の高齢化は止まっている。40〜50代の方がかなり居住している。

(雑談) 片瀬山と西鎌倉はどちらが早かったですか？

西鎌倉の方が早かった。西鎌倉は一斉販売したので、一つの自治会である。片瀬山は丁目単位で出たので、自治会が丁目単位になった。西鎌倉の方が少し狭い。昔、江の島の橋は木製で有料だった。5円だった。東京オリンピックの時にコンクリート製になり、その時から無料になった。

(データ)

*片瀬山住宅地総面積 623,000平米(約19万坪)
*交通機関料金(国鉄) 藤沢〜東京 200円(江ノ電バス) 藤ヶ谷〜藤沢 20円(京急バス) 目白山〜大船 40円
*住宅ローン 最高1千万円・年収の2倍が限度・融資20年迄・金利9.84%

湘南と片瀬山年譜

昭和22年(1947年)	鎌倉郡片瀬町が藤沢市に合併編入された
28年(1953年)	県道鎌倉片瀬藤沢線開通(1993年国道467号線に)
30年(1953年)	国道134号線開通
30年(1955年)	江の島ゴルフ場開場
37年(1962年)	江の島大橋(車専用)開通
38年(1963年)	江の島ゴルフ場閉場
38年(")	三井不動産(株)同地を買収
38年(")	三井不動産による宅地造成
41年(1966年)	(株)湘南モノレール設立
42年(1967年)	片瀬山住宅地第1期(3丁目)分譲始まる
42年(")	片瀬中学校(4丁目)が片瀬より新築移転
42年(")	片瀬山商店街営業(大坂)書店・パン屋・肉屋等
43年(1968年)	1月より3丁目から入居が始まった
43年(")	4、2丁目宅地完成。完成順に土地分譲が行われた
44年(1969年)	神奈中バス開通。分譲地内バス停3ヶ所
45年(1970年)	湘南モノレール 西鎌倉一大船間開通
46年(1971年)	" 大船一江の島全線開通6.6km(7月)
47年(1972年)	遅れていた1・5丁目の造成が完了し、5丁会全ての分譲が完了した
48年(1973年)	町制改革により片瀬山1〜5丁目が行政上の正式地番となり、自治会も各丁目毎に認められた
48年(")	5丁会連合自治会設立し活動を開始した
49年(")	片瀬山連合わかやぎ会設立
51年(1976年)	片瀬山市民の家開設
54年(1979年)	湘南百合学園中等部新校舎落成

サークルによって、大募集のサークルと欠員待ちのサークルがあります。
それぞれの詳細は連絡先の方まで、お気軽にお問合せ下さい。

サークル名	日時・会場等	ひとこと
1. PCクラブ 8人	第2,4月曜日 13~15時 片瀬山市民の家 会費・月額1,500円 連絡先: Tel 22-3262 立脇	小林・尾澤両先生のご指導のもとに、ワード、エクセルを使いこなし、インターネットも楽しめます。
2. 茶道 松風会 8人	第1水曜日 10~12時 片瀬山市民の家 会費・月額1,000円 連絡先: Tel 24-0506 丸山	四季折々の道具立とお菓子、長寿のものとの一服をどうぞ。
3. はちすの会(太極拳)10人	第1・3火曜日 10~12時 片瀬山市民の家 会費・月額1,000円 連絡先: Tel 25-4161 大石	準備運動に気功を取り入れ、ゆるやかな動作が主ですが、太極拳は足腰が鍛えられます。
4. 歌声の会 20人	第3日曜日 14~16時 片瀬山市民の家 会費・1回300円 連絡先: Tel 22-3262 立脇	細木佳子先生のご指導とピアノ伴奏で、懐かしい歌や新しい歌など楽しく歌っています。
5. 囲碁同好会 20人	毎週金曜日 13~17時 片瀬山市民の家 会費・6ヵ月1,000円 連絡先: Tel 26-5634 上繁	これから始めようとする方、男性女性を問わず大歓迎です。八段まで相手に不自由なしです。
6. グランドゴルフ「愛球クラブ」16人	毎週木曜日 9時半~11時 片瀬山北公園 会費・無料 連絡先: Tel 22-3262 立脇	北公園は up&down があって面白いです。適度な運動でロコモ対策としても有効です。
7. 麻雀教室 22人	火曜日A・9時半~12時 B・13時~15時半 片瀬山市民の家 会費・年2,000円 連絡先: Tel 54-5788 國分	4年も続いています。参加者は講師の思惑と違い、上達より楽しくが目的のようです。
8. カラオケ 10人	第4木曜日14時~ 藤沢駅周辺のカラオケルーム 会費・1回1,000円程度 連絡先: Tel 27-6188 宮内	思い切り声を出すことは、健康上の利点があります。
9. 吹き矢 13人	第4金曜日 14~16時 片瀬山市民の家 会費・1回300円 連絡先: Tel 27-2256 宇野	誰も手軽に楽しめる安全で健康なスポーツ。一気に吐く呼吸法で腹式呼吸が自然に身につきます。
10. ゴルフ 14人	春と秋の年2回 連絡先: Tel 24-0790 蓑田	ゴルフの最大の欠点は面白すぎる。楽しくプレーしませんか。
11. 虹の会(俳句) 6人	第3月曜日 13~16時 片瀬山市民の家 会費・月額1,000円 連絡先: Tel 27-5843 菰方	西野洋司先生のご指導のもと俳句を楽しんでおります。
12. アロハ・アイカーネ 8人	第2・4木曜日 14~16時 片瀬山市民の家 会費・月額300円 連絡先: Tel 28-6186 三田	ハワイアンソングを聴きながら、背筋を伸ばして軽快に踊りましょう。心和むひと時をご一緒に!

わかやぎ会広報誌のお知らせ

片瀬山の老人会「連合わかやぎ会」の広報誌「わかやぎ」からのお知らせです。今まで、年2回発行してきました。ご覧になっていない方もおられると思いますが、今号は是非ご覧になって下さい。

タイトルは「湘南と片瀬山〈今昔〉」です。

自分の住んでいるこの片瀬山が出来た頃と、それ以前の片瀬地区の歴史を知りたいと思ったのが、今回の企画の動機でした。

昔の事をご存知の方が段々少なくなってきました。そこで片瀬山第1期分譲から入居され50年以上お住まいの方や、片瀬地区に生まれ育った方にお集まりいただき、インタビュー形式で色々お話をいただきました。

「語り部」の方々から思いがけない貴重なお話も聞けました。

皆さんもこの広報誌を基にお子様方に、自分の住んでいる片瀬山の歴史をお話してあげて下さい。

令和2年11月吉日

連合わかやぎ会々長

立協和夫

「わかやぎ」編集長

國分孝夫